

市有特定建築物耐震化推進計画概要版

現状・施設整備の方向性

施設名	市役所 (A・B棟)	市民会館・中央公民館	市民体育館	市民活動センター	
写真					
竣工	昭和49年3月	昭和48年5月	昭和56年2月	昭和56年3月	
床面積	A・B棟	5,777㎡	5,842㎡	1,529㎡	
	参考:C棟				7,133㎡
	参考:駐車棟				3,764㎡
階数	地上5階・地下1階	地上3階・地下1階	地上2階	地上3階	
構造耐震指標 I s 値(最低値)	0.25	0.24	0.25	0.51	
整備の方向性	<ul style="list-style-type: none"> C棟を活用して現地に建替える 複合施設として再整備する 	<ul style="list-style-type: none"> 既存施設は廃止する 他施設へ機能を移転(市役所との複合化) 	<ul style="list-style-type: none"> 耐震補強工事 長寿命化改修 ※H29、30年度工事	<ul style="list-style-type: none"> 耐震補強工事 ※H28年度工事	

○耐震補強とは

建物の耐震性を高めるために、既存建物の主要な構造(基礎・土台、柱、梁、床、壁、天井)に対して行う補強のこと。

○構造耐震指標 (I s 値) とは

建物の耐震性能を表す指標で、I s 値が大きければ大きいほど耐震性が高いと判断されます。

$I s < 0.3$	地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が高い。
$0.3 \leq I s < 0.6$	地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性がある。
$0.6 \leq I s$	地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い。

平成18年1月25日国土交通省告示第184号(別表第6)

市役所配置図



耐震化に係る検討パターン

整備案	整備の概要				事業費	
	市役所		市民会館・中央公民館			
1案	減築	<ul style="list-style-type: none"> A・B棟減築及び耐震補強 大規模改修工事 	61.7億円	<ul style="list-style-type: none"> 耐震補強及び大規模改修工事 	20億円	81.7億円
2案	免震	<ul style="list-style-type: none"> 耐震補強(免震構造) 大規模改修工事 	47.7億円	<ul style="list-style-type: none"> 耐震補強及び大規模改修工事 	20億円	67.7億円
3案	単独	<ul style="list-style-type: none"> A・B棟及び駐車棟解体 新棟及びC棟ホール建築工事 	64.7億円	<ul style="list-style-type: none"> 耐震補強及び大規模改修工事 	20億円	84.7億円
4案	複合化	<ul style="list-style-type: none"> A・B棟及び駐車棟解体 新棟及びC棟ホール建築工事 市民会館機能併設工事 	81.0億円	<ul style="list-style-type: none"> 建替え工事(市役所敷地内に建設) 	解体工事 1.4億円	82.4億円

※全パターン共通して、新耐震基準のC棟は改修して今後も活用する。

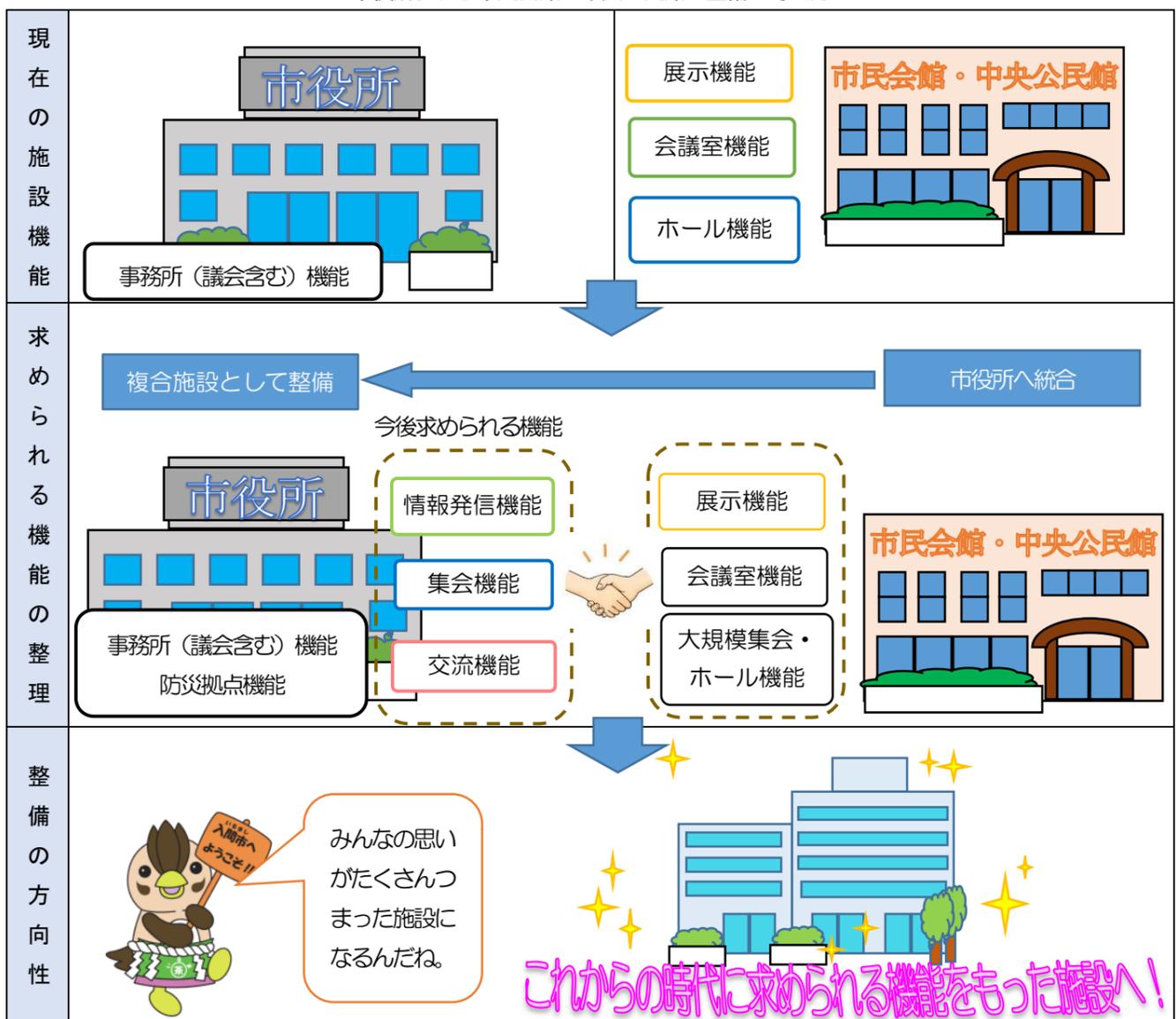
市役所の施設コンセプトおよび施設の整備方針

施設コンセプト

「交流と協働」～市民と行政のエネルギーを1つに！～
市民どうし、市民と行政の交流と対話からまちづくりを始める場



市役所および市民会館・中央公民館の整備の考え方



今後の市役所整備に向けた検討について

平成28年度から29年度にかけて市民ワークショップを設置し、市役所の施設コンセプトおよび整備方針に沿った施設整備の具体化を検討する。その中で、求められる機能や整備後の運営方法、利用方法、市民活動との関係などについて具体化し、次のステップである設計に活かしていく。